

## 脱無縁社会シンポジウム開催

つながるKYOTOプロジェクト主催の「脱」無縁社会シンポジウムが3月5日(土)の13:30から17:00までキャンパスプラザ京都で開催されました。総勢80名の方が参加され、門川市長も参加してくださいました。

講演者として、さわやか福祉財団の桑山信子氏、南太秦ふれあいサンデーモーニングカフェの高岡宏行氏、まちの学び舎ハルハウスの丹羽國子氏、また立命館大学の社会調査士クラスの学生などが招かれ「脱」無縁社会をテーマにまちの縁側と呼ばれる、人とのつながりの場、地域の居場所についての報告や意見交換が行われました。

シンポジウムでは、社会的に孤立している人たちが失ってしまった「縁」を豊かにして、無縁社会から抜け出させようとしている方たちの挑戦が主に語られました。

右京区の南太秦自治連合会の会長の高岡宏行氏は小学校の一室を利用し、地域の住民の方と直接話し合い気軽に相談し、支えあえるという理念のから日曜日の朝にカフェを開いており、そのカフェは荒天の日でも50名以上の地域住民が参加するのだとか。周囲の人が「あんた、まだやるんか？」と呆れるほどの高岡氏の地域内のつながりに対する情熱に胸を打たれました。

北区にある、まちの学び舎ハルハウスの代表である丹羽國子氏の講演からは、ハルハウスが放つ魅力でもある、人と人とのつながりはもちろんのこと、人と空間とのつながりも強く感じました。ハルハウスでは、まず来客者に一杯の美味しいお茶を出すそう。「私はここにいていいんだ」「受け入れてくれるんだ」と人と空間とのつながりは人と人とのつながりももたらすようです。

学生の研究発表では、ハルハウスなどのまちの縁側に関する調査結果を発表。調査で得たデータを解析することで、それぞれのまちの縁側が共通して抱える問題点(プライバシーの問題やまちの縁側に行きたいけど、体が不自由で行けない人の対応など)も見えてきました。

最後には全体討論と、発表者の一方的な情報発信で終わらずに参加者と一体感を持たせようとしていたことが、つながるKYOTOプロジェクトらしく印象的でした。

シンポジウムでは『まちの縁側マップ』が配布されました。これには京都市内に存在する21カ所ものまちの縁側に関する情報が掲載されていて、参加者の方々はとても興味深そうに眺めていました。

このシンポジウムを機に、参加された方の個々がシンプルな人と人の繋がりと触れ合いが交差するまちの縁側の重要性を認識しあうことで住民間のきずなを育む取り組みの輪はますます広がっていくことでしょう。(ようき)

つながるKYOTO HP: <http://datsumuensyakaijimdo.com/>



## まちの居場所を広げよう、脱無縁社会へ 下京でシンポ

人間関係の希薄化が進む中、「脱」無縁社会シンポジウムが、京都市下京区のキャンパスプラザ京都で開催された。人と人とのつながりの場や地域の居場所づくりに関心する人たちが集まり話し、課題について考えた。

京都市未来まちづくり100人委員会と立命館大学社会学部教員、学生ら約80人が参加した。

シンポジウムは月2回、小中学校の一室で地域住民が集まりながら交流する場を設ける右京区の南太秦自治連合会の高岡宏行氏(68)や、異世代が交流できる居場所づくりに取り組む左京区のまちの学び舎ハルハウスの丹羽國子氏(72)らが登壇を交わした。

また、立命館大学の学生たちが、京都市内の無縁社会が広がる集いの場の運営内容、「まちの縁側」のような居場所の確保について直接話を聞いた。

【2011年03月06日 11時43分】

Copyright (c) 1996-2010 The Kyoto Shinbun Co., Ltd. All rights reserved.

3月6日付京都新聞にシンポジウムの記事が掲載されました。

## 「第六回」ハッピー子育て塾開催

3月6日(日)の10時00分から12時まで、伏見区藤森にある白井乳児園で、「ハッピー子育て塾」が開催されました。今回は、京都市保健福祉局子育て支援部保育課の荒武みすず氏をコーディネーターに、大田順子先生をお招きし、先生のコレクションによるオルゴールコンサートが行われました。また、子育てに頑張るおかあさんたちを癒すオルゴールによるセラピーも行っていました。門川市長もコンサートとセラピーに参加され、オルゴールによる癒しを体験されました。



これらもオルゴールなんです。

当日は子供たちと親御さんを中心に20人以上の方が参加されました。大田先生にお持ちいただいたオルゴールは手のひらに載るくらいの小さなものから、大人でも持ち上げるのが大変なくらい大きくて重いものまでさまざまな種類がありました。また、上で人形がぐるぐる回るものや、鳥かご状になっていて鳥の鳴き声がするもの、ピエロの形をしたものなど、本当に色々なオルゴールがあって、その世界の広さ、深さに驚きました。

コンサートが始まると、それまでにぎやかだった子供たちがビタッと静かになったのにびっくり。オルゴールの音色には子供たち(もちろん大人も)を惹きつける言葉では言い表せない魅力があるようです。

先生のお話を間に挟みながら、一つずつオルゴールを聴いていきます。弁の数で表現できる音数が決まり、かなり複雑な曲も再現できるのだそうです。最後はオルゴールに合わせて「産の上のポニョ」をみんなで歌いました。その後、先生が持ってこられた木のおもちゃで遊ぶ時間になりました。

子供たちが遊んでいる間は親御さんたちのオルゴールセラピータイム。横になって、オルゴールを枕にしたり、お腹の上に置いて目を閉じます。また、時々先生がハンドオルゴールを頭上で鳴らすのを聴くと、さらに気持ちが落ち着いていこうです。中には眠ってしまう方もおられたようで、日ごろ張り詰めていた気持ちをリラックスさせることができたのではないのでしょうか。最後は子供たちから大田先生と市長に花束を贈呈しました。先生も子供たちとのふれあいで元気をもらった、ととてもうれしそうでした。プロジェクト、そして白井乳児園の皆さんの手作りの企画・運営で、あたたかさを感じ出した「ハッピー子育て塾」でした。(早崎) ハッピー子育て塾HP: <http://happykosodatejuku.jimdo.com/>



大田順子先生



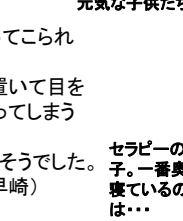
荒武みすず氏



元気な子供たち



オルゴールの音に耳をかたむけず



セラピーの様子。一番奥で寝ているのは...

## 100人委員会懇親会開催

2月19日(土)の定例会議終了後、宮川筋にある「澤食(さわい)」で、2月度の懇親会を開きました。委員、事務局、京都市職員だけではなく、100人委員会に興味を持つ知り合いの大学生も参加して、バラエティに富んだメンバーで楽しく飲み食べ、熱く語り合う場となりました。

事前に10人の方から参加申し込みがあったのですが、活性化部会で個別に声かけを行っていた効果か(?)、最終的に30人くらいのメンバーが参加してくださいました。いろんな話ができて、賑やかに文字どおり懇親することができました。門川市長も飛び入り参加されて、鍼灸師のツボ押しを体験、澤食の女将さんとのハグなど楽しんでおられました。これからも定例会議の終了後毎回懇親会を予定しておりますので、ふるって参加してください。確実に人の輪が広がりますよ。(村木)



一見敷居の高そうな澤食さんの外観ですが...



市長に詰め寄る? Hさん



中はこんな感じで落ち着き 市長と女将さんのツーショットです。

## 部会長のコラム

**部会長会議の挑戦【「みんながひとつ」の100人委員会を】**  
部会長と事務局とで部会長会議を設けて、事務局から一般の委員へ、「運営のバトン」を引き継ごうとしています。



部会長会議で話された結果は、運営会議に上げられて、全体会議で皆様の審判を仰いで決定されています。2月と3月の間の部会長会議は深夜に及びました。

部会以外にも柔軟に100人委員会全体に貢献する仕組みを作っていくという話から「勉強企画室」が、活性化部会会議で提案のあったワールドカフェを部会合同で実施できないか、という話には、他4部会長が調整をしてくれました。

長い会議ですが、傍聴したい、部会長に聞いてみたいことがある、という方が参加されてもいいと思っています。ご興味のある方は声をかけてください。3期の終わりには「100人委員会は...」より「私たちは...」と皆が自然に口にしていくような、One for All, All for One.な100人委員会にしよう。僕らはそんな思いでやっています。(深田)

委員の横顔、第二回はミニ特集として、3人の方をご紹介します。人選は・・・気分で行っています・・・(^\_^;)。さて、どんな話が飛び出しますか。(土岐・早崎)

お一人目は土岐利加委員。編集委員の土岐(どき)と同じ苗字ということでご登場願いました。ただしこちらは濁らずに「どき」とお読みします。

参加されている部会とプロジェクトについて教えてください。

部会は「環境・景観部会」です。プロジェクトは「人と動物の共生をめざす動物園プロジェクト」に参加しています。  
これまでの社会は経済至上主義で利便性を追求してきましたが、昨今はその体系が崩れ、社会全体が経済だけでなく心の面でも閉塞してきていると思います。今、社会が方向転換する時期を迎えていると思います。  
持続可能な社会の発展のために、これからは環境、自然についてもっと考えていかなければいけないと感じています。部会、プロジェクトを通して、自然、動物との共生や エコロジーについて考えることで、閉塞した社会から経済的にも精神的にも抜け出せるようになればと考えています。

プロジェクトでの取り組み状況を教えてください。

私は、命を大切に思いやりのある社会にしたいという想いがあり、また、動物が好きなので動物を通して、実現できないかと取り組んでいます。人々が生き物たちと出会い、その感動をきっかけにもっと自然のことを考えたり愛したりするようになったらうれしいなと思います。  
プロジェクトでは毎月一回動物園を副園長さんといっしょに視察し、改善点を話し合っています。これまで、花壇の設置、ベンチの整備、檻のガラスへの変更、飼育環境に土や緑を入れるなどの提言を行い、実行していただいています。(特に動物園を「生態系を学習するスペース」にすることに力を入れています。  
また、(府立)植物園と連携できないかと考えて働きかけたところ、週一回植物園の人たちが動物園を訪れて、植生のアドバイスをしてくれるようになりました。

具体的な成果となっているのはすごいですね。

動物園の方々が私たちの意見を取り入れて実行してくださるので、やりがいを感じながら取り組んでいます。きれいな水も緑も良い環境がないと成り立たないので、そのためにこれからもできることをやって行きたいと思っています。

どうもありがとうございました。機会があればぜひ動物園の視察も取材させてください。



お二人目は懇親会場で文字どおり突撃した石部大史委員。早崎の目の前に座ったということだけでお願いしちゃいました。

参加されている部会とプロジェクトについて教えてください。

部会は「観光・交通部会」です。プロジェクトは「岡崎地域魅力発見連続講座『オカシルリレー講座』」に参加しています。  
オカシルプロジェクトで、4月と5月に岡崎近辺(白川～諏上)を歩くイベントをやるので、みなさんにもぜひ参加していただきたいと思っています。

普段はどんなお仕事？また、休日はどのように過ごしていますか？

仕事については、詳細はまだはっきり言えないのですが、起業の準備をしているところです。  
休日は知らない街の知らない場所や路上を歩くのが好きです。

と、ここで「あんぶら」の宇野さんが乱入。おすすめ散歩コースは？との問いに「メジャーじゃなくていいんですか？歩いてみると意外な発見の多い大黒町界隈がお気に入りですね。伝統的な町屋が残っていて、きれいな街並みです。ちなみに「まいまい京都」の西陣街歩きではガイドも務めているんですよ。

京都を歩くという取り組みはたくさんあるのですね。100人委員会の中でも協力し合っているといいですね。最後に自己PRをお願いします。

はい。みなさん、「まいまい京都」をよろしくお願いします。

どうもありがとうございました。我々の無理やりインタビューにぼろ酔い嫌嫌で答えてくださった石部さん、ご協力本当にありがとうございました。



最後は萩原三義委員。前回の懇親会に来てくださって少しお話をさせてもらったので、今回ご登場願いました。しかしこちらもお互いお酒が入っていたため、内容はちょっと怪しい(^\_^;)です。

参加されている部会とプロジェクトについて教えてください。

部会は「福祉・コミュニティ部会」です。プロジェクトは今期はまだどこにも属していませんが、近日中に新しいプロジェクトを立ち上げる予定です。

プロジェクトでの取り組み状況を教えてください。

(めちゃくちゃ長くしゃべっていたのですが、経団連の関係で省略)ある人から紹介されたのがきっかけで1期から参加しています。これまでずっと「100人委員会ってなんやねん!？」と、問い続けてきました。なんでも納得いくまで突き詰める性格してるから、例えば市政についてもいろいろと情報の公開を求めてきました。  
今期はこの「100人委員会ってなんやねん!？」という問いに答えるものを自分で作ろうと思います。これが新しいプロジェクトで、「(仮称)100人委員会のパンフレットを作ろう」というものです。外部の人たちも巻き込んで、「100人委員会ってこんなやねん!！」と、外部に発信できるものを作りたいと思っています。

普段のお仕事は何をなさっているのですか？

鍼灸師です。(ここで周りの委員に「ニセモノ」「インチキ」といじられて「そんな訳ないやろ!」と本気で怒っていた萩原さん、みんなに愛されている萩原さんです。)この後市長さんが宴会に来ると、その健康を気遣ってツボ押しをしてあげていました。実は市長さんが大好きなんだとわかりました。その後宴会に来ていた女性2人をツボ押しして、また周りの人にいじられてましたが…。因みに座右の銘は「属意病者(インタビュー注:自分の心を集中させて病者に寄り添い、のぞみをもつこと)」だそうです。

どうもありがとうございました。今期は市民と行政の協働/共汗のあり方の「コリ」の解消も目指して頑張ってください。



## 来月の関連イベント

### 3月19～21日 Zoo Cafe

- 日時 3月19～21日 10:00～15:00
- 会場 京都市動物園「新おとぎの国」前特設カフェコーナー  
京都市バス5系統・100系統他。「動物園前」下車徒歩1分  
市営地下鉄蹴上駅下車徒歩5分
- 参加費 動物園入園料おとな600円別途  
メニュー:  
老舗・山田ベーカリーの動物パン、フランクフルトパン  
玉屋珈琲さん提供のコーヒー  
ハルハウスのお手製ゼリー  
各種ドリンク(ジュース)
- お問い合わせ tokirika@kph.biglobe.ne.jp (土岐)

### 4月2日 100人委員会お花見

- 日時 4月2日(土) 16:00～最後の人が帰るまで
- 会場 村木邸  
地下鉄「国際会館駅」から徒歩10分、叡山電鉄「岩倉駅」から徒歩5分
- 参加費 3,000円
- メニュー パーベキュー、そのほか諸々  
飲み物 ビール、ワイン、焼酎、日本酒、ソフトドリンク
- ※どうしても焼きたい食材、飲みたい酒があれば持って来てください
- お問い合わせ・申し込み 3月27日までに、活性化部会 村木まで。  
メール=minakomu@pearl.ocn.ne.jp  
携帯メール=m375hirotaka@softbank.ne.jp  
携帯電話=09099886597

### 4月3日 堀川桜祭り

- 市民参加という言葉があまり使われていなかった10数年前、延べ1000人以上の地域住民が参加したワークショップのアイデアを盛り込んだ堀川水辺環境整備事業が完了し、コンクリートで底張りされ「水のない川」となっていた堀川に再び水が流れました。  
桜の花が咲くこの時期に「堀川に水を」という地域住民の長年の悲願の成就を記念して、「堀川桜祭り」を開催することになり、今回で第3回目です。
- 日時 4月3日(日) 10:00～15:30
  - 会場 場所 押小路橋から一条戻り橋  
主催 堀川と堀川通を美しくする会
  - プログラム 消防音楽隊の演奏、地域住民や商店による模擬店、和太鼓などのボランティアのふれあいステージ等盛りだくさんのイベントが開催されます。

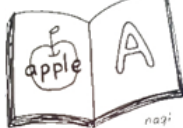
### 東北地方太平洋沖地震、被災者義援金募集

東北地方太平洋沖地震の被災者の方々を少しでも支援するために100人委員会として義援金を集めることにしました。

3月懇親会では中止しますので、参加しようと考えておられた方は、その分を。その他の皆さんも出来る限り協力してください。

定例会議時にはみつばちカフェに募金箱を用意します。集まった義援金は活性化部会が責任を持って被災者の方に届けます。

なお、今後被災者支援のための勉強会も企画し、東北の復興を助けたいと考えています。みんなでも助け合いましょう。



## 編集後記

先月号をやっと出せたと思ったら今月号・・・毎月発行はなかなか大変です。しかし一月の間にもいろいろなことがありますね。今月はやっぱり地震・・・日に日に被害の大きさを思い知らされて気持ちが沈みますが、反面、日本人の優しさ、協調性など底力を感じることもあります。これからもできることを少しでもやって行きたいですね。

さて、「みつばち通信」の方は、今月号記事集めと編集に奔走しました。インタビューや取材でこれまでお話ししたことなかった委員さんたちとたくさんお会いし、お話ししました。さすがに100人委員会に参加するようの方々には皆さんおもしろくて、新たな発見や、感心する事が多く、楽しんでやらせてもらっています。

「委員の横顔」は自薦・他薦問わず受け付けていますので「あの人どんな人が聞いてきて!」「俺の話聞いて!」というようなリクエストをお寄せください。また、「取材に来て!」というようなお話も大歓迎ですのでご連絡ください。連絡先は、[vitalization2011@gmail.com](mailto:vitalization2011@gmail.com)です。(早崎)

